

## 授業計画（シラバス）

<b>■科 目</b>	<b>総合臨床 1</b>	<b>■講師名</b>	渡辺 節子
I 部 2 学年	前期 1 5 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 30 時間	講義 2 単位
<b>■学修概要</b>			
将来像を明確にして、国家試験合格を視野に入れた具体的な学習方法、学ぶ姿勢を身につける。 自己分析や事前学習を行うことにより授業や臨地・臨床実習での習熟度が高まる。			
<b>■授業目的、到達目標</b>			
臨地・臨床実習を通して専門分野のグループワークを行い歯科衛生士に求められる専門知識の根本的な 発言力、聞く力を養い、理解を深めて応用可能にする。 代表的な症例の深い理解や知識を繋げることにより臨地・臨床実習だけでなく国家試験対策にも役立て られる。			
<b>■授業方法</b>			
講義、演習（グループワーク、グループディスカッション、発表）			
<b>■教科書（書籍名・出版社）</b>			
歯科衛生士書き込み式学習ノート①～④ / 医歯薬出版 ①専門基礎科目編 ②社会歯科系科目編 ③臨床科目編〈上〉 ④臨床科目編〈下〉			
<b>■成績評価・講義上の注意</b>			
定期試験、出欠席、授業態度、課題の他、以下の項目による総合的な評価 グループワーク・グループディスカッション：グループとしての行動の内容、協力度、達成度 発表：発表の態度、技術、発声、参加することへの積極性 課題：提出期限、内容			
<b>■実務経験</b>			
歯科衛生士として長きに亘り、臨床及び教育現場で歯科衛生士や学生教育に携わる。その実績を反映し 臨床経験に基づいた幅広い視点から知識、技術を学ぶ機会を提供したいと考えている。			
<b>■授業計画（講義の流れ）</b>			
1	歯科衛生士書き込み学習ノート①専門基礎科目編の復習		
2	歯科衛生士書き込み学習ノート②社会歯科系科目編の復習		
3	歯科衛生士書き込み学習ノート③臨床科目編〈上〉		
4	歯科衛生士書き込み学習ノート③臨床科目編〈上〉		
5	歯科衛生士書き込み学習ノート③臨床科目編〈上〉		
6	歯科衛生士書き込み学習ノート④臨床科目編〈下〉		
7	歯科衛生士書き込み学習ノート④臨床科目編〈下〉		
8	歯科衛生士書き込み学習ノート④臨床科目編〈下〉		
9	中間試験（国家試験に準ずる練習問題を実施し理解力を確認）		
10	自己分析と具体的な学習の進め方		
11	症例検討：保存修復症例、補綴症例、小児歯科症例、矯正症例、口腔外科症例、歯周・歯周外科療 計 6 症例に関して課題考察		
12	症例発表：症例診断名・治療目的・治療手順・使用器具・問題点		

## 授業計画（シラバス）

13	発表症例に関する国家試験過去問題の理解力を確認
14	国家試験過去問題の効果的な活用方法
15	定期試験（国家試験過去問題を実施し理解力を確認）